

定例会 概要

令和4年度当初予算案総額1082億6711万円

議案審査を経て全て可決！

市議会2月定例会は、2月15日から3月18日までの32日間の会期で開かれ、市長提出議案37件、議員提出議案1件を審議

2月15日 本会議第一日

- ・ 議会運営委員、やいづ市議会広報特別委員の補充選任
- ・ 人事案件2件を同意（市長提出）
- ・ 補正予算6件（一般会計1件、特別会計4件、企業会計1件）を上程し（市長提出）、各委員会の審査を経て全て可決（P4・5参照）
- ・ 令和4年度当初予算12件、条例13件（制定2件、改正11件）、一般案件2件を上程（市長提出）

3月3日・4日・7日 本会議第二日・三日・四日

- ・ 決議1件を可決（議員提出）（P15参照）
- ・ 代表質問4議員、一般質問9議員（P6～14参照）
- ・ 議案質疑2議員

3月8日～11日・15日 各委員会の議案審査

- ・ 総務文教常任委員会、市民福祉常任委員会、建設経済常任委員会、予算決算審査特別委員会が付託された議案を審査（P16～18参照）

3月18日 本会議第五日

- ・ 人事案件1件を同意（市長提出）
- ・ 2月15日に上程された27議案の審査結果報告及び討論を経て、全て可決（P4・5参照）
- ・ 一般案件1件が追加上程され、総務文教常任委員会の審査を経て、可決（市長提出）
- ・ 議員定数等調査特別委員の補充選任

主な議案の審議結果



令和4年度焼津市一般会計
予算案

552億5200万円

賛成多数原案可決



令和4年度焼津市港湾事業
特別会計予算案

3億9680万円

全会一致原案可決



令和4年度焼津市公共下水道
事業会計予算案

収益的支出
19億2802万6千円

資本的支出
16億4958万1千円

全会一致原案可決



令和4年度焼津市介護保険
事業特別会計予算案

131億5850万円

全会一致原案可決



令和4年度焼津市水道事業
会計予算案

収益的支出
20億5425万8千円

資本的支出
19億3662万7千円

全会一致原案可決



令和4年度焼津市国民健康
保険事業特別会計予算案

131億8250万円

賛成多数原案可決



令和3年度焼津市一般会計
補正予算（第12号）案

増額 12億397万7千円

新型コロナウイルスワクチン接種費、小学校教育環境整備事業費、LINEクーポン事業費、道路改良費など

全会一致原案可決



令和4年度焼津市温泉事業
特別会計予算案

1億2150万円

全会一致原案可決



令和4年度焼津市病院事業
会計予算案

収益的支出
144億5282万3千円

資本的支出
12億2058万7千円

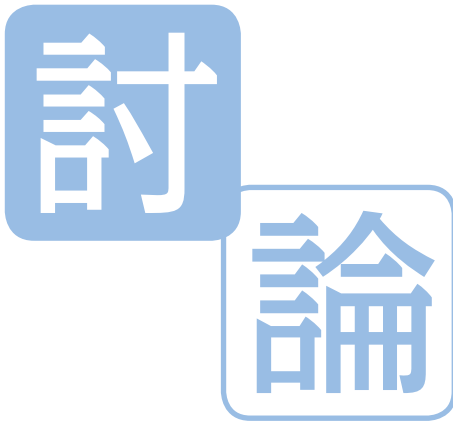
全会一致原案可決

議案28件中、賛否が分かれた採決状況

(○印は賛成、×印は反対 池谷和正議長は可否同数の裁決以外は採決に加わりません。)

議案名		議決結果	賛成:反対	石原	安竹	内田	増井	河合	藁科	須崎	石田	松島	村松	川島	杉田	岡田	秋山	池谷	渋谷	杉崎	青島	鈴木	太田	深田
市長提出議案	議第1号	令和4年度焼津市一般会計予算案	原案可決	17:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	△	○	○	○	○	○	×
	議第4号	令和4年度焼津市国民健康保険事業特別会計予算案	原案可決	18:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	△	○	○	○	○	○	×
	議第8号	令和4年度焼津市後期高齢者医療事業特別会計予算案	原案可決	18:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	△	○	○	○	○	○	×

議第1号に対する討論の主な内容



賛成討論

石田 江利子 議員

令和4年度焼津市一般会計予算案は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に対応するとともに、withコロナ、ポストコロナを見据え、持続可能なまちづくりの実現のために取り組む予算となっている。

また、予算執行に当たっては、ふるさと納税をはじめとする更なる自主財源の確保に努めるとともに、健全な財政運営を維持するため、引き続き行政経営システムの実践による事業の見直し、再構築の徹底など、より一層の努力を要望し、本予算案に賛成する。

反対討論

秋山 博子 議員

令和4年度焼津市一般会計予算案について、次の3点から反対する。1点目、保育・幼児教育の民間事業所職員の処遇を改善するのに対し、同様に子育ての現場を支える市の会計年度任用職員が改善対象に含まれておらず、コロナ克服経済対策交付金の趣旨に沿っていないのではないか。2点目、HPVワクチン接種に関し、全ての子宮頸がんが防げるものではなく、副反応の治療法が確立されていない中での再開であるにも関わらず、深刻な副反応の実態など必要な情報提供が不十分である。3点目、小児コロナワクチンの接種券を一律送付するのではなく慎重に進めるべきである。

反対討論

杉田 源太郎 議員

S I C周辺まちづくりの準備組合設立に向けて議決権行使書の賛否が行われ、地権者全体の約3割、検討区域内地権者では約5割が反対するも賛成多数として準備組合が設立した。自給率を高めて地産地消を進め、地球温暖化防止につながる持続可能な農業育成が大切で、優良農地をダイヤモンドの原石としてまちづくりを進めることこそ求められる。地域住民の分断を招き、まちづくりの名の下で優良農地を市街化区域に編入、企業進出前提でなければ成立しない土地区画整理事業への支援としてのS I C周辺拠点整備事業に反対する。